

## 教員養成課程における合唱編曲の指導法

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2017-10-03 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 土屋, 公平 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2297/23361">http://hdl.handle.net/2297/23361</a>

# 教員養成課程における合唱編曲の指導法

土 屋 公 平

## A Method of Teaching How To Arrange a Piece of Music for a Chorus (for Special Use for Students in Teaching Courses)

Kohei TSUCHIYA

### I 教材の選択

教員養成課程における合唱編曲の指導の際、最も適切な教材として、明治・大正期に作曲された文部省唱歌をはじめとする小学唱歌を挙げることができる。

この小学唱歌は、一部形式・二部形式あるいは小三部形式などの唱歌形式で構成されているので、各小楽節ごとの対比を考慮しながら和声付けができるということ、更に、小楽節が2乃至4という短い旋律にもかかわらず、多彩な和声によって支えられた旋律が多く、従って、改めて新鮮な和声付けを試みた場合、多様な和声付けが可能であること、などの利点がある。

諸外国の民謡や、あるいはフォスターやジルヒャーなどの、いわゆる民謡に準じた平易な歌曲に、改めて別の和声付けを試みた場合、概して、単調な和声に限定されてしまう曲が多い。

合唱編曲の指導の際、より多様な和声付けが可能な旋律ほど、より適切な教材といえるだろう。

しかし、諸外国の民謡や平易な歌曲にも、もちろん教材として相応しい曲を見出すことができるので、数曲を選び出して取り上げていきたいと思う。

### II 具体的な指導法

#### 1) 和声付け

まず、課題の旋律に和声付けするが、ほとんどの旋律に、既に伴奏が付けられている。しかし、その伴奏の和声に関係なく、改めて新鮮な

和声を付けていくのである。

和声付けについて、つぎのことに留意しなければならない。

- ① 和音の選択は、概して1小節1～2を原則とするが、各拍ごとに、あるいは更に細かく半拍ごとに和音を替えた方が効果的な場合もある。要は、旋律の自然な流れに相応しいように和音を選択すること。
- ② 非和音を適確に整理すること。
- ③ 適宜に変化和音を使うことによって、色彩豊かな和声になるように工夫すること。

全員が和声付けしたのち検討し合い、その旋律にとって、最も相応しい和声に統一する。同じ和声に統一するということは、続いてバス・パートを検討しなければならないので、便宜上同じ和声に統一するのである。

#### 2) バス・パートの検討

統一した同じ和声によって、混声4部合唱のバス・パートを、まず先に検討しておく。

アルト・テノールの内声に先立って、まずバス・パートを検討するねらいは、内声よりも外声を重視することから、主旋律に対応した適切なバス・パートを、あらかじめ検討しておくのである。

しかし、実際に混声4部に編曲した場合、検討しておいたバス・パートが修正されることもあるが、内声に優先して、まずバス・パートを考えておくことは大切なことなのである。

バス・パートについても全員で検討し合い、最後に、また同じバス・パートに統一する。

### 3) 内声の検討

和声付け及びバス・パートが決り、最後にアルト・テノールの内声パートを加えて完成する。

この場合、内声についてつぎのことに留意しなければならない。

ソプラノ（主旋律）は、概して他のパートとセットになって、3度（10度）・6度（13度）音程で並進行するが、アルトとのセットが最も多い。またソプラノは、アルトに次いでテノールともセットになるが、ときにはバスとセットになった並進行が効果的な場合もある。

テノールは、おおむね大きな抑揚のある動きではなく、むしろ4声のバランスを保つ役割があって、平坦な流れになることが多い。

つぎに、具体的な指導事例を挙げ、編曲の要点を簡明に指摘しておく。

## Ⅲ 指導事例

### 1) 混声4部

#### 譜例1「海」

この旋律は、わずかに8小節であり、平凡な編曲になりやすいが、曲の山の5小節に2つのポイントを置くことによって、味付けをしているといえるだろう。1つは、3拍目の変化和音である。この和音は、本来Ⅳに進行しなければならないが、譜例の進行も可能であろう。そして、この変化和音を使うことによって、バスのc-h-b-aのクロマティック下行が可能になり、効果的になっている。

3・4小節のバスは、主旋律のg-c-dに対応したc-e-gである。7小節2・3拍の $I^2V_7$ は、2つの和音に分割せずに、単に $V_7$ も可能であるが、完全終止の場合 $V_7$ を分割して $I^2V_7$ に取ることが可能であれば、分割の方が優っている。

#### 譜例2「春が来た」

3小節は、普通に和声付けすればIになるが、3・4拍は譜例のような変化和音が効果的であろう。5・6小節の3拍目に、それぞれ変化和音を使っているが、6小節は5小節に対応

させた、一種の模統的な効果をねらったものである。

終止形の $I^2V_7-I$ については、すでに譜例1で説明した。

終止の $V_7-I$ のバスg-cは、本来4度上行が力強さがあって優れている。しかし、この曲の場合は、主旋律との関係から、5度下行はやむをえない。

#### 譜例3「夕やけこやけ」

3小節は、素直に和声付けすればIであるが、冒頭からIが連続することもあって、このように変化させたい。

3・4小節及び終止直前のテノールは、oIIを使うことによって、a-as-gの効果的なクロマティック下行が可能になっている。

第3小楽節3小節は、ソプラノ・アルトのセットによる3度の並進行も可能であるが、譜例のように、ソプラノ・バスのセットの方が面白い。

#### 譜例4「茶つみ」

この曲は、素直に和声付けすれば、ほとんどIとVに限定される。従って、適宜に変化和音を使って、なるべく豊かな和声になるように工夫しなければならない。

#### 譜例5「たきび」

3小節はIが普通であるが、譜例のように変化させたい。5・6小節の変化和音は、模統的な効果をねらっている。

二部形式の曲の山は、概して第3小楽節が多い。しかし、この曲は、第4小楽節の冒頭が曲の山になっている。

第3小楽節は、第1・第2小楽節の8分音符の連続のリズムから、一転して長い付点のリズムに変わり、更に音高を低音域に落すことによって、静かにエネルギーを蓄えているという感じになっている。従って、この第3小楽節は、落ち着いた穏やかな感じを保つために、変化和音なども使わないで、主旋律とバスをセットにした3度（10度）音程の並進行が、最も相応しい。

## 譜例6「ふじ山」

5小節のesは、本来dに下行して解決しなければならないが、解決音dは、アルトに替ってソプラノになっている。esが、仮に外声（ソプラノ・バス）であれば、必ず2度下行してdに解決しなければならないが、譜例のようにesが内声の場合は、解決音は他のパートに移行しても差支えない。

第4小楽節の冒頭は、前の小節が $V_7$ のためⅥに取らざるを得ない。

## 譜例7「ふるさと」

7小節及び最後のⅡ- $V_7$ は、分割しないで、3拍を $V_7$ にとることもできる。しかし、Ⅱ- $V_7$ に分割することによって、機能がS-Dに色分けされ、従って色彩が豊かになるので、分割が優っている。

第4小楽節アルトのg-fis-f-e-es-dは、効果的なクロマティック下行である。

## 譜例8「海」

この曲は、二部形式A(a, b)B(c, d)に6小節のコーダが付加されていると分析することができる。従って、22小節という、比較的長い小節数になっているので、適宜に変化和音を使って、単調な和声付けにならないように工夫しなければならない。

## 譜例9「おぼろ月夜」

この曲は $\frac{3}{4}$ 拍子であるが、各小楽節の初めの1・2小節は、いずれも $\frac{3}{4}$ 拍子ではなく、音楽の流れの事実上の拍子は、 $\frac{3}{4} + \frac{3}{4}$ 拍子の複合拍子なのである。つまり、譜例の点線が事実上の小節線である。従って、小節縦線が移行した $\frac{3}{4} + \frac{3}{4}$ 拍子として、和声付けを考えていかねばならない。

4小節は、二部形式の第1小楽節の最後なので、普通はⅤの半終止でなければならないが、Ⅰに取らざるを得ない。

3小節は、普通に和声付けすれば $I^2V$ になるが、譜例のように変化和音を使うことによって、バスのas-a-bが効果的なクロマティッ

ク上行になっている。

第4小楽節のテノールからバスに互って、es-d-des-c-ces-b-g-fisのクロマティック下行を含んだ進行は、効果的である。この下行の途中で、b-gの3度の跳躍進行があるが、gの次の音がfではなく、半音高いfisなので、下行の流れを受け止めている感じになっている。fisに続くg-as-bの上行が、また生きている。

## 譜例10「今日の日はさようなら」

この曲は小学唱歌ではないが、教材として適切なので取り上げている。

2小節はⅠに挟まれたⅣなので、第2転回でも差支えないが、バスが4小節間連続gになる。従って、譜例のように変化させたい。

8小節のテノールcは、 $V_7$ の第7音であり、つぎの小節ではhに解決させなければならない。しかし、解決音のhはアルトに替っている。これは、9小節の4声の配置の響きの効果を考慮したものであり、内声のテノール・アルトの入れ替えなので差支えない。

## 譜例11「まことの愛」

この編曲は、終止形の $I^2V_7-I$ の和声を除いて、すべて基本位置になっているという、例外的な編曲といえるだろう。もちろん転回形を随所に使って編曲することも可能である。譜例と比較して、いずれの編曲が優っているか、優劣はむずかしい。

7・8小節は属調のへ長調に転調している。7小節は分割しないで、 $V_7$ に取ることも考えられる。しかし、 $I^2V_7-I$ の終止形として、 $I^2V_7$ に分割することが可能であり、分割が優っている。

## 譜例12「アニー・ローリー」

この曲は、最も素直に和声付けすれば、Ⅰ・Ⅳ・Ⅴの主要三和音だけになるだろう。従って、副三和音や変化和音を適宜に使って、変化させるように工夫しなければならない。

第3小楽節の2小節単位の反復は、当然2回

目を変化させなければならないが、譜例のように、フリギア終止が自然な流れであろう。

冒頭は、主旋律が低いのでユニゾンにして、主旋律が1オクターブ跳躍した瞬間に、4声体に展開するという構想であり、冒頭の4音のユニゾンは効果的である。終わりのユニゾンも同様の効果をねらっている。

#### 譜例13「おどろろ楽しいポーレチケ」

この曲は、多彩な和声付けができず、主要三和音に限定された和声付けはやむを得ない。

この曲は、主要三和音で構成されている場合の主旋律に対応したバス・パートを、どのように工夫するか、また同じ和音が連続した場合に、転回形を含めてどのように処理するか、などが主な課題である。

2・3小節は $V_7$ であり、バスは第5音から根音 $d-g$ であるが、この逆の $g-d$ の連結はあり得ない。つまり、3・4小節のバスは、 $g-c$ の完全4度上行が安定しているからである。

第2小楽節の主旋律は、第1小楽節よりも低く、第3小楽節の曲の山に備えて静かな流れになっている。従って、 $V_7$ は基本位置ではなく、静かな流れに相応しいように、譜例のように第1転回が効果的である。

## 2) 混声3部

混声3部は、音域があまり広くない中学生などを対象とした、特殊な演奏形態である。従って、音域を十分考慮して、無理のないように編曲することが肝要である。

混声3部の編曲の場合、つぎのことに留意しなければならない。

2オクターブ以上にわたる音域を、ソプラノ・アルト・男声の3パートが、バランスよく調和を保つように構成しなければならない。

男声パートは、混声4部のバスではなく、テノールとバスをまとめたパートと考えることができる。また、男声パートは、必ずしも和音を支える土台としての役割をもつ必要はなく、比較的自由的な動きができるといえるだろう。しかし、和音の第2転回形の使用には、十分注意し

なければならない。

譜例14「今日の日はさようなら」、譜例15「まことの愛」は、譜例10・11と同じ和声によって編曲した混声3部の一例である。

## 3) 女声3部

女声合唱は、通常ピアノ伴奏付きを前提としている。声部構成は、4声から6声などの多声部にわたる編成もあるが、3声が一般的な編成である。

女声合唱は、高音部譜表の比較的限定された狭い音域内で和声を構成していかねばならないが、各パートが、それぞれ最も歌い易いように、効果的な流れになるように工夫しなければならない。

譜例16・17は、譜例10・11及び譜例14・15と同じ和声によって編曲した女声3部の一例である。

(譜例1～17は、すべて筆者の編曲である)

譜例 1

海

林 柳波作詞  
井上武士作曲

The score for '海' is written in 3/4 time. It consists of two systems of music. The first system has four measures with lyrics: う み は ひろい な おおき い な. The second system has four measures with lyrics: つ ほ が の ほ る い が し あ む. Chord symbols are placed above the notes, and Roman numerals are placed below the lyrics.

う み は ひろい な おおき い な

つ ほ が の ほ る い が し あ む

譜例 2

春が来た

高野辰之作詞  
岡野真一作曲

The score for '春が来た' is written in 4/4 time. It consists of two systems of music. The first system has four measures with lyrics: は る が き た は る が き た と こ に (き) た. The second system has four measures with lyrics: や ま に た と こ に た の た き た. Chord symbols are placed above the notes, and Roman numerals are placed below the lyrics.

は る が き た は る が き た と こ に (き) た

や ま に た と こ に た の た き た

譜例 3

夕やけにやけ

中村雨紅作詞  
草川 信作曲

C: I 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100 101 102 103 104 105 106 107 108 109 110 111 112 113 114 115 116 117 118 119 120 121 122 123 124 125 126 127 128 129 130 131 132 133 134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152 153 154 155 156 157 158 159 160 161 162 163 164 165 166 167 168 169 170 171 172 173 174 175 176 177 178 179 180 181 182 183 184 185 186 187 188 189 190 191 192 193 194 195 196 197 198 199 200 201 202 203 204 205 206 207 208 209 210 211 212 213 214 215 216 217 218 219 220 221 222 223 224 225 226 227 228 229 230 231 232 233 234 235 236 237 238 239 240 241 242 243 244 245 246 247 248 249 250 251 252 253 254 255 256 257 258 259 260 261 262 263 264 265 266 267 268 269 270 271 272 273 274 275 276 277 278 279 280 281 282 283 284 285 286 287 288 289 290 291 292 293 294 295 296 297 298 299 300 301 302 303 304 305 306 307 308 309 310 311 312 313 314 315 316 317 318 319 320 321 322 323 324 325 326 327 328 329 330 331 332 333 334 335 336 337 338 339 340 341 342 343 344 345 346 347 348 349 350 351 352 353 354 355 356 357 358 359 360 361 362 363 364 365 366 367 368 369 370 371 372 373 374 375 376 377 378 379 380 381 382 383 384 385 386 387 388 389 390 391 392 393 394 395 396 397 398 399 400 401 402 403 404 405 406 407 408 409 410 411 412 413 414 415 416 417 418 419 420 421 422 423 424 425 426 427 428 429 430 431 432 433 434 435 436 437 438 439 440 441 442 443 444 445 446 447 448 449 450 451 452 453 454 455 456 457 458 459 460 461 462 463 464 465 466 467 468 469 470 471 472 473 474 475 476 477 478 479 480 481 482 483 484 485 486 487 488 489 490 491 492 493 494 495 496 497 498 499 500 501 502 503 504 505 506 507 508 509 510 511 512 513 514 515 516 517 518 519 520 521 522 523 524 525 526 527 528 529 530 531 532 533 534 535 536 537 538 539 540 541 542 543 544 545 546 547 548 549 550 551 552 553 554 555 556 557 558 559 560 561 562 563 564 565 566 567 568 569 570 571 572 573 574 575 576 577 578 579 580 581 582 583 584 585 586 587 588 589 590 591 592 593 594 595 596 597 598 599 600 601 602 603 604 605 606 607 608 609 610 611 612 613 614 615 616 617 618 619 620 621 622 623 624 625 626 627 628 629 630 631 632 633 634 635 636 637 638 639 640 641 642 643 644 645 646 647 648 649 650 651 652 653 654 655 656 657 658 659 660 661 662 663 664 665 666 667 668 669 670 671 672 673 674 675 676 677 678 679 680 681 682 683 684 685 686 687 688 689 690 691 692 693 694 695 696 697 698 699 700 701 702 703 704 705 706 707 708 709 710 711 712 713 714 715 716 717 718 719 720 721 722 723 724 725 726 727 728 729 730 731 732 733 734 735 736 737 738 739 740 741 742 743 744 745 746 747 748 749 750 751 752 753 754 755 756 757 758 759 760 761 762 763 764 765 766 767 768 769 770 771 772 773 774 775 776 777 778 779 780 781 782 783 784 785 786 787 788 789 790 791 792 793 794 795 796 797 798 799 800 801 802 803 804 805 806 807 808 809 810 811 812 813 814 815 816 817 818 819 820 821 822 823 824 825 826 827 828 829 830 831 832 833 834 835 836 837 838 839 840 841 842 843 844 845 846 847 848 849 850 851 852 853 854 855 856 857 858 859 860 861 862 863 864 865 866 867 868 869 870 871 872 873 874 875 876 877 878 879 880 881 882 883 884 885 886 887 888 889 890 891 892 893 894 895 896 897 898 899 900 901 902 903 904 905 906 907 908 909 910 911 912 913 914 915 916 917 918 919 920 921 922 923 924 925 926 927 928 929 930 931 932 933 934 935 936 937 938 939 940 941 942 943 944 945 946 947 948 949 950 951 952 953 954 955 956 957 958 959 960 961 962 963 964 965 966 967 968 969 970 971 972 973 974 975 976 977 978 979 980 981 982 983 984 985 986 987 988 989 990 991 992 993 994 995 996 997 998 999 1000

ゆ う や け に や け 2" ひ が く れ

や ま の お て ら の か ね が な る

お - 2 2 7 な い 2" み な か え ろ

か ら お と い っ し ゃ に か え り ま (し ゃう)

譜例 4

茶 っ み

文部省唱歌

G: I なつも ちかづく はちぢう はちや  
 のにち ゃまにち わかばが しげる  
 あれに みえる はちや づみぢ ないか  
 あかぬ (V<sub>7</sub>) だあきに (II') あけの (I<sup>2</sup>) か (V<sub>7</sub>) さ (I)

譜例 5

たきい

渡辺 茂作曲

Handwritten musical notation for the first system. It consists of two staves: a treble clef staff and a bass clef staff. The key signature is one sharp (F#) and the time signature is 4/4. The melody is written in the treble staff, and the accompaniment is in the bass staff. Chords are indicated above the treble staff: D, G, and G#m7.

D: I かきねの かきねの IV まがりか V と

Handwritten musical notation for the second system. It consists of two staves: a treble clef staff and a bass clef staff. The key signature is one sharp (F#) and the time signature is 4/4. The melody is written in the treble staff, and the accompaniment is in the bass staff. Chords are indicated above the treble staff: D, D7, G, G#dim7, D, A7, and D.

I たきい"た" IV たきい"た" I<sup>2</sup> - V<sup>1</sup> おちば"た I

Handwritten musical notation for the third system. It consists of two staves: a treble clef staff and a bass clef staff. The key signature is one sharp (F#) and the time signature is 4/4. The melody is written in the treble staff, and the accompaniment is in the bass staff. Chords are indicated above the treble staff: A, A7, and D.

V<sup>1</sup> あ た (V<sup>2</sup>) ろうか I あたろうよ

Handwritten musical notation for the fourth system. It consists of two staves: a treble clef staff and a bass clef staff. The key signature is one sharp (F#) and the time signature is 4/4. The melody is written in the treble staff, and the accompaniment is in the bass staff. Chords are indicated above the treble staff: G, D, G#m7, D, A7, and D.

IV きたかせ" I<sup>1</sup> - G<sup>1</sup> - I<sup>2</sup> - V<sup>1</sup> 3.い てい I

譜例 6

ふじ山

文部省唱歌

The first system of musical notation consists of two staves. The upper staff is in treble clef with a key signature of one flat (B-flat major) and a common time signature. The lower staff is in bass clef. The music features a melody in the upper staff and a harmonic accompaniment in the lower staff. Vertical lines connect notes between the two staves, indicating chord voicings. The lyrics are written below the lower staff.

F: I  
 あ た ま を く の う え に だ - れ

The second system of musical notation continues the piece. It features the same two-staff format as the first system. The melody and accompaniment are clearly defined, with vertical lines connecting notes between staves. The lyrics are written below the lower staff.

I V<sub>7</sub> IV I<sup>2</sup> V<sub>7</sub> I  
 し ほう の や - ま を み おろ - して

The third system of musical notation continues the piece. It features the same two-staff format. The melody and accompaniment are clearly defined, with vertical lines connecting notes between staves. The lyrics are written below the lower staff.

V<sub>7</sub> I IV V<sub>7</sub>  
 か み な り や - ま を し た に き く

The fourth system of musical notation concludes the piece. It features the same two-staff format. The melody and accompaniment are clearly defined, with vertical lines connecting notes between staves. The lyrics are written below the lower staff.

V<sub>7</sub> IV I V<sub>7</sub> I  
 ふ じ は に っ ぽ ん い ち の や ま

譜例7

ふ、る、さ、と

高野辰之作詞  
岡野貞一作曲

Handwritten musical notation for the first system, featuring a treble and bass clef staff with a key signature of one sharp (F#) and a 4/4 time signature. The melody is written on the treble staff, and the accompaniment is on the bass staff. The lyrics 'う、さ、ま、追、い、か、の、や、ま' are written below the staff.

G: I う、さ、ま、 V<sup>1</sup> 追、い、 I か、の、や、ま

Handwritten musical notation for the second system, continuing the melody and accompaniment from the first system. The lyrics 'に、い、ま、釣、り、れ、か、の、か、わ' are written below the staff.

IV に、い、ま、 I 釣、り、れ、 II<sup>1</sup> か、の、か、 V<sub>7</sub> わ

Handwritten musical notation for the third system, continuing the melody and accompaniment. The lyrics 'ゆ、め、は、い、ま、め、ぐ、り、て' are written below the staff.

V<sub>7</sub><sup>1</sup> ゆ、め、は、 I い、ま、 IV め、ぐ、り、て

Handwritten musical notation for the fourth system, concluding the melody and accompaniment. The lyrics 'わ、あ、れ、が、た、ま、い、る、と' are written below the staff.

I わ、あ、れ、 V<sub>7</sub> が、た、ま、 I べ、い、る、と

譜例 8

海

文部省唱歌

$\text{♩} = 84$  G D G C G D Em

まっは"ら とおく 手-巾 3 とニカ. べらほの

C D D7 G (D7) G C#m7<sup>5</sup>

か-け"は う - か 3" ほしあみ は-まに たか<

Daug G Gdim7 G G7 Am D7 G

かむめほ む-<< なみに と 3"

Daug G Em D7 Daug G C G D7 G

み よ 3 の う み 4 よ 3 の う み

譜例 9

おぼろ月夜

高野辰之作詞  
岡野貞一作曲

$\text{♩} = 76 \sim 84$   
E<sup>b</sup>

Es: I A<sup>b</sup> A<sup>b</sup>5 A<sup>b</sup>7 B<sup>b</sup> E<sup>b</sup>

な の は な は た け - に い り ひ う お ち

Fm7 E<sup>b</sup> B<sup>b</sup>7 E<sup>b</sup>

I' II<sup>1</sup><sub>7</sub> I<sup>2</sup><sub>7</sub> I

み わ た あ や ま の - は か - あ み (B<sup>b</sup>)<sub>7</sub> か し

A<sup>b</sup> A<sup>b</sup>7 E<sup>b</sup> B<sup>b</sup>

I' IV ~~9~~ I V

は る か せ "そ 女 心 - < そ - ら せ み 月 は"

E<sup>b</sup> E<sup>b</sup>7 Cm E<sup>b</sup> F<sup>b</sup>7 E<sup>b</sup> Fm7 E<sup>b</sup> B<sup>b</sup>7 E<sup>b</sup>

I ~~9~~7 VI I' ~~9~~ I' II<sup>1</sup><sub>7</sub> I<sup>2</sup><sub>7</sub> I

ち う つ - せ か か り - づ に - お い あ わ し

譜例10

今日の日は、さようなら

金子詔一 作詞  
作曲

Chords: G, C, G

Lyrics: い つまで" 忘れ 絶え る ことな く

Chords: Em, Am, A7, D, D7

Lyrics: と れだち ら" いよ う

Chords: G, C, G, B7, Em, Em7

Lyrics: 明 日 の 日 を や め 見 - る き

Chords: Am, A7, D, D7, G

Lyrics: は" う の みち を

譜例11

まことの愛

フェーリンゲン地方民謡

Andante B<sup>b</sup> E<sup>b</sup> B<sup>b</sup> F B<sup>b</sup> E<sup>b</sup> B<sup>b</sup>

B: I (IV<sup>2</sup>) I V I (IV<sup>2</sup>) I

い か で き み と わ か ぬ ゆ か ん

B<sup>b</sup> B<sup>b</sup>dim B<sup>b</sup> E<sup>b</sup> B<sup>b</sup> F C<sub>7</sub> F

I #9 I IV I F: I<sup>2</sup> V<sub>7</sub> I

お か く し たら こ の め の

F<sub>7</sub> B<sup>b</sup> E<sup>b</sup> B<sup>b</sup> G<sub>7</sub> Cm

B: V<sub>7</sub> I (IV<sup>b</sup>) I V<sub>7</sub> II

あ つ き お も い き み に か よ い

F<sub>7</sub> B<sup>b</sup> C<sub>7</sub> F<sub>7</sub> B<sup>b</sup>

V<sub>7</sub> I (IV) I V<sub>7</sub> V<sub>7</sub> I

こ ろ と わ に か わ ら じ

譜例12

ア = - - ロ - リ -

スコットランド民謡

C F C D7 G

C: I IV V7 I V7 I

あ - し た つ や お く 野 の い - ま に

C F C G7 C

C: I IV I<sup>2</sup> V7 I

い - と し ア = - ロ - リ - き み と か た り ぬ

C G C Am Dm E

C: I V I VII II V

と し 之 ま ゝ 二 三 変 え ゝ

Am F C G7 C

C: VI IV I I<sup>2</sup> V7 I

ち か い し ア = - ロ - リ - 飛 - が - い の ち よ -



譜例14

今日の日はさようなら

金子詔一 作詞  
作曲

F:I  
い つまでも 絶えることなく

Dm Gm Bm7 C C7  
と ぬたさ ず いふ う

F Bb F A7 Dm Dm7  
明日の日を ゆめ 見えて

Gm Bdim C Edim F  
はう の みちを

譜例15

まことの愛

フューリンゲン地方民謡

Andante B<sup>b</sup> E<sup>b</sup> B<sup>b</sup> F B<sup>b</sup> E<sup>b</sup> B<sup>b</sup>

B:I (IV<sup>2</sup>) I V I (IV<sup>2</sup>) I  
 い か ぐ み と わ か れ や か ん

B<sup>b</sup> B<sup>b</sup>dim B<sup>b</sup> E<sup>b</sup> B<sup>b</sup> F C<sup>7</sup> F

I |#9| I IV I F:I<sup>2</sup> V<sub>7</sub> I  
 う か く れ と う に の み の

F<sub>7</sub> B<sup>b</sup> E<sup>b</sup> B<sup>b</sup> G<sub>7</sub> C<sub>m</sub>

B:V<sub>7</sub> I (IV<sup>2</sup>) I V<sub>7</sub> II  
 あ つ き お も い ま ん に か よ い

F<sub>7</sub> B<sup>b</sup> C<sub>7</sub> F<sub>7</sub> B<sup>b</sup>

V<sub>7</sub> I (IV) I V<sub>7</sub> V<sub>7</sub> I  
 こ こ ろ と わ に か わ ら べ

譜例16

今日の日はさようなら 金子詔一 作詞 作曲

The first system of musical notation consists of two staves. The upper staff is in treble clef with a key signature of one sharp (F#) and a 3/4 time signature. It contains a melody with notes G4, A4, B4, C5, B4, A4, G4, and F#4. The lower staff is in bass clef and contains a bass line with notes G2, F#2, E2, D2, C2, B1, and A1. Chord symbols G, C, and G are placed above the upper staff. Roman numerals G:I and IV are placed below the lower staff.

い つま" ち 絶え る こゝな く

The second system of musical notation consists of two staves. The upper staff continues the melody with notes G4, A4, B4, C5, B4, A4, G4, and F#4. The lower staff continues the bass line with notes G2, F#2, E2, D2, C2, B1, and A1. Chord symbols Em, Am, A7, D, and D7 are placed above the upper staff. Roman numerals VI, II, V7, and V are placed below the lower staff.

と らだ" ち ズ" いよ う - - -

The third system of musical notation consists of two staves. The upper staff continues the melody with notes G4, A4, B4, C5, B4, A4, G4, and F#4. The lower staff continues the bass line with notes G2, F#2, E2, D2, C2, B1, and A1. Chord symbols G, C, G, B7, Em, and Em7 are placed above the upper staff. Roman numerals I, IV, I, V7, VI, and V7 are placed below the lower staff.

明 日 の 日 さ や め 見 - て き

The fourth system of musical notation consists of two staves. The upper staff continues the melody with notes G4, A4, B4, C5, B4, A4, G4, and F#4. The lower staff continues the bass line with notes G2, F#2, E2, D2, C2, B1, and A1. Chord symbols Am, A7, D, D7, and G are placed above the upper staff. Roman numerals II, V7, V, V7, I, and V are placed below the lower staff.

ほ" う の みち さ

譜例17

まことの愛

フェーリングゲン地方民謡

B<sup>b</sup> E<sup>b</sup> B<sup>b</sup> F B<sup>b</sup> E<sup>b</sup> B<sup>b</sup>

B: I<sup>o</sup> | I<sup>o</sup> | I<sup>o</sup> (IV)<sup>o</sup> | I<sup>o</sup> | I<sup>o</sup> | I<sup>o</sup> | I<sup>o</sup> (IV)<sup>o</sup> | I<sup>o</sup> | I<sup>o</sup>

い か ら み と わ か れ ち か ん

B<sup>b</sup> B<sup>b</sup>dim B<sup>b</sup> E<sup>b</sup> B<sup>b</sup> F C<sup>7</sup> F

I<sup>o</sup> | I<sup>o</sup> | I<sup>o</sup> | IV<sup>o</sup> | I<sup>o</sup> | F: I<sup>o</sup> | V<sup>7</sup> | I<sup>o</sup>

さ か く し と う こ の み の

F<sup>7</sup> B<sup>b</sup> E<sup>b</sup> B<sup>b</sup> G<sup>7</sup> C<sup>m</sup>

B: V<sup>7</sup> | I<sup>o</sup> (IV)<sup>o</sup> | I<sup>o</sup> | G<sup>7</sup> | V<sup>7</sup> | II<sup>o</sup>

あ つ お れ い ま に か よ い

F<sup>7</sup> B<sup>b</sup> E<sup>b</sup> B<sup>b</sup> C<sup>7</sup> F<sup>7</sup> B<sup>b</sup>

V<sup>7</sup> | I<sup>o</sup> (IV)<sup>o</sup> | I<sup>o</sup> | V<sup>7</sup> | V<sup>7</sup> | I<sup>o</sup>

こ ろ と わ に か わ ら じ